

雑 報

定例研究報告会の開催

(平成6年10月～12月)

〈回〉	〈月 日〉	〈報 告 題 目〉	〈報告者〉
15	10. 5	カイロ会議の意義……………	阿 藤 誠 廣 嶋 清 志
16	11. 2	第3回勉強会－人口学における手法とモデルの役割……………	金 子 隆 一
17	11. 16	単身生活者増加の人口学的要因……………	山 本 千鶴子
18	12. 7	1995(平成7)年度研究計画について……………	廣 嶋 清 志
	〃	出生・死亡の現況：1993年……………	石 川 晃
19	12. 14	「第1回全国家庭動向調査」結果の概要……………	高 橋 重 郷 西 岡 八 郎 才 津 芳 昭 池 上 正 真 堀 内 弓 子
20	12. 21	第4回勉強会－要因分解法について……………	廣 嶋 清 志

なお、定例研究報告会における所内研究員の報告とは別に、次のような外部専門家による特別講義が行われている。

10. 12	ヨーロッパからみた高齢化……………	Herve Le Bras 氏 (フランス社会科学院歴史人口学研究部長)
--------	-------------------	---

資 料 の 刊 行

(1994年10月～12月)

〈資料題名(発行年月日)〉	〈担当者〉
○Annual Report of the Institute of Population Problems with Selected Demographic Indicator, 1994……………	

日本社会学会

第67回日本社会学会大会は、1994年11月5～6日の2日間、京都の同志社大学にて開催された。

62を数える部会と3つのテーマ部会からなり、発表件数は237を越した。

ここで記しておくべき第1は、ひさびさに人口部会が大変な盛況のなかで開かれ、人口移動、出生、家族人口学、歴史人口学など多数にして魅力あふれる発表がなされ、社会学の中での人口研究の関心の広がりを感じることができた。(司会は若林敬子)

1. 戦後日本における国内人口移動の再検討

—移動歴からみた年齢コーホート分析

西岡八郎(人口問題研究所)

2. 出生行動と社会政策

—ヴィネット調査による出生行動の分析

織田輝哉(社会保障研究所)

3. 若年者における就学・就業行動の家族人口学的要因 小島 宏 (人口問題研究所)

4. 息子の再分配

—養子慣行の歴史人口学的分析 落合恵美子・黒須里美 (国際日本文化研究センター)

また、この前日の11月4日、龍谷大学にて第4回アジア社会研究会研究大会が開かれた。「現代アジアにおける都市、農村の構造連関」を全体共通テーマとし、中国、タイ、フィリピンの3つの部会にわかれ、人口移動が比較検討された。中国部会は以下のとおり。

1. 小城镇—都市・農村の結節点 田中重好
2. 地域社会の構造と人口移動 佐々木衛
3. 現代中国の都市・農村の構造連関 陸 学芸

なお、発表者の陸学芸は中国社会科学院社会学研究所所长・中国社会学会副会長であり、日中社会学会の11月12日にも発表。明年11月には、天安門事件で延期されてきた「第6回アジア社会学会」が北京で開かれる予定である。(若林敬子記)

経済統計学会第38回全国総会

経済統計学会第38回全国総会は、1994年11月9日(水)から10日(木)の2日間、静岡大学を開催校とし、リゾート伊豆(静岡県・東伊豆町)で行われた。SNA、家計調査、「日本人の国民性調査」等16の報告があり、そのうち人口に関連する報告は以下のとおりである。

報告者	論 題	予定討論者
廣嶋清志 (厚生省人口問題研究所)	「高齢者の世帯状態の将来推計：結果とその分析」	藤岡光夫 (島根大学)
渡邊吉利 (厚生省人口問題研究所)	「未婚率の地域的变化の動向—SMAMおよび生涯未婚率による観察—」	藤岡光夫 (島根大学)
坂田幸繁 (中央大学)	「都道府県間人口移動率の予測について」	西村善博 (大分大学)

なお、今回はじめて「ジェンダー統計の諸問題」について特集が生まれ、以下の4報告が行われた。

報告者	論 題	予定討論者
伊藤陽一 (法政大学)	「ジェンダー統計—現状と課題—」	山田 満 (高崎商科短期大学)
杉橋やよい (法政大学大学院)	「コンパラブル・ワースの職務評価と統計利用—男女別格差是正に向けて—」	杉森滉一 (中央大学)
岩崎俊夫 (立教大学)	「ジェンダー視点から見た経済活動人口の概念と構成」	福島利夫 (大阪経済法科大学)
中村安子 (大東文化大学)	「アメリカ合衆国における女性と統計」	山本千鶴子 (厚生省人口問題研究所)

(山本千鶴子記)

人文地理学会

1994年度の人文地理学会大会は1994年11月12日～14日、奈良女子大学(奈良県奈良市)にて開催された。人口研究に関連して、以下のような発表があった。

- ・東京都区部内における公営住宅居住者の年齢構成の変化 由井義通 (立命館大学・文)